

# 会 議 録

会議等の名称	令和3年度 第1回東御市病院等運営協議会	開催日時	令和3年6月7日(月) 13時～14時50分
		場 所	東御市民病院 2階研修室
主催者(事務局)	東御市民病院	司会者	岩下事務長
出席者	武藤芳照 安保美香 清水千枝 中山貴之 窪田俊介 高木真由美 佐々木亮三 宮下真郷 原澤敦子		
欠席者	酒井康弘		

検討内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
1 開会	岩下事務長	皆様お忙しいところ、お集まりいただき誠にありがとうございます。これから令和3年度第1回病院等運営協議会を開催します。私、本日の司会進行を務めさせていただきます、事務長の岩下正浩と申します。会議次第の会長、副会長の選任まで、進行を務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。
2 委員の委嘱		花岡市長から委嘱書の交付
3 市長あいさつ	花岡市長	<p>お忙しい中、「病院等運営協議会」にご出席をいただきまして、ありがとうございます。本日は、委員の委嘱をさせていただきました。今後2年間、よろしくお願い致します。さて、令和3年度からは新たに事業管理者を設置しまして、岩橋院長をトップとした新体制でスタートしました。更に、院内の連携強化や調整をしやすくするために、看護師から1名、副院長に配置いたしました。そして、第3次経営改善計画を確実にすすめるため、プライマリケアの実現と地域包括ケアの確立に取り組むための組織改革を行ないまして、市民病院・みまき温泉診療所・助産所とうみの3事業を一つの経営体として捉えた、管理運営体制に改正いたしました。現在、コロナ感染症により、病院運営は大変難しい状況が続いておりますが、上小医療圏全体における対策として、PCR検査をはじめ病床の確保等、医療提供体制の整備に最大限の努力をしておるところでございます。</p> <p>また、ワクチン接種に関しましても、集団接種や高齢者施設の接種に協力しているところでありまして、今後とも、改善計画の基本方針に掲げられた「医療機関との連携」や「地域全体の感染症対策」にも積極的に取り組み、社会的責務を果たしてまいります。この後、病院事業の令和2年度決算状況の報告のほか、本年度が計画期間の初年度になります「東御市病院事業第3次経営改善計画」や、令和3年度の重点事業についてご説明させていただきます。それぞれのお立場から率直なご意見をいただきまして、今後の病院改革・病院運営に生かしてまいり</p>

		たいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。
4 自己紹介		<各自己紹介>
5 協議会の役割について	柳沢医療 事務部長	<病院等運営協議会の役割について説明>
6 年度 会長、副会長の選任	武藤会長 安保副会長	協議会設置条例第3条の規定により、委員の互選 <u>会長に武藤委員、副会長に安保委員を選出</u> 武藤会長あいさつ 安保副会長あいさつ
7 報告事項	武藤会長  柳沢医療 事務部長  武藤会長  柳沢医療 事務部長 岩下事務長  窪田委員 柳沢医療 事務部長  清水委員  岩橋院長	これより議長を務めさせていただきます。 まず、本日の会議における公開・非公開の件につきまして、東御市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づきまして決定いたします。事務局より説明願います。 報告事項（1）「新型コロナウイルス感染症の対応について」ですが、資料の中に市民病院への新型コロナウイルス感染者の受け入れに関する内容が含まれております。長野県内においては、特に入院患者の受入の有無については広く公表はしないとの取り扱いとなっております。また、公開することでの風評被害や市民への無用な不安を生じさせる恐れがあります。そのため東御市審議会等の会議の公開に関する要綱の「公開しないことができる情報」としての、公共の安全・秩序の維持に支障が生ずる恐れがある情報に該当すると判断されますので、報告1については非公開として取り扱いをお願いしたいと存じます。 ご質問・ご発言ありますか。（異議なし） 事務局の提案どおり「新型コロナウイルス感染症の対応について」は非公開といたします。それでは、報告事項に入ります。報告事項の（1）新型コロナウイルス感染症の対応について、事務局より説明をお願いします。 <b>（1）新型コロナウイルス感染症の対応について</b> <資料No.1により説明> <補足説明> 資料中、「②診療の状況」が非公開事項に該当する旨説明 ＝ 質疑応答・意見 ＝ 自費診療とはどういう状況のことを言うのでしょうか。 企業において感染者が発生し、濃厚接触の疑いがあり事業の継続に支障が出るような場合に限り、企業からの依頼により当院の判断で実施したものです。 検査で陽性になった数と実際に入院した数が違うが、市民病院で陰性であっても保健所での検査で陽性になって入院になるということでしょうか。 入退院の流れとして陽性患者が出た場合、保健所が入院先を決

		めるので、当院で陽性となった方が当院に入院するというわけではありません。保健所が重症度をみて当院で管理できる患者が選ばれて入院になります。
		<b>(2) 令和2年度決算（見込み）について</b>
武藤会長		続きまして、「(2)令和2年度決算（見込み）について」に事務局より説明をお願いします。
大塚庶務係長		<資料No.2-1・2-2により説明>
		= 質疑応答・意見 =
武藤会長		資料No.2-2「収益的収入分の繰入金・補助金」の補助金について、コロナ禍だから出た特別な補助金が含まれているのでしょうか。
大塚庶務係長		コロナ関係の医療機器を購入したものの補助金、コロナ病棟の受入体制整備支援の県補助金が含まれています。
武藤会長		今年度も同じ性格の補助金の交付見込みはありますか。
大塚庶務係長		今年度も同様の補助金が交付される見込みです。
高木委員		電話によるオンライン診療の件数はどのくらいありますか。
渡辺医事係長		昨年5月から開始し9月までが257件、10月から12月までが198件、1月から3月までが216件でした。
		<b>(3) 東御市病院事業第3次経営改善計画の推進について</b>
武藤会長		続きまして、「(3) 東御市病院事業第3次経営改善計画の推進について」事務局より説明をお願いします。
柳沢医療事務部長		<資料No.3により説明>
		= 質疑応答・意見 =
佐々木委員		みまき温泉診療所では齋藤先生が在宅を意欲的にやられている。在宅医療はだいぶ増えているのでしょうか。
岩橋院長		診療所、病院とも訪問診療を実施しているが、診療所のほうが右肩上がりが増えていきます。ニーズも増えており今後も増加していくと思われます。
岩下事務長		資料No.2-2「患者状況集計表」温泉診療所中、訪問診療患者数のとおり、令和2年4月には40人だったものが令和3年3月には、71人になっており、かなりの数で伸びていて、今後も伸びていく見込みです。
佐々木委員		前回の会議で指摘したが会議が非常に多いのではないかと、各委員会をたくさん作っていたが現在はどうなっているのでしょうか。診療には差し支えないでしょうか。
岩橋院長		法律上必要なものや診療報酬の関係のものなど、様々な種類の委員会があります。確かに会議数は多いですが業務に支障がでていないほどではありません。ただ、診療等で人が集まらない委員会もありますので、現在委員会の在り方の見直しに取り組んでいます。

高木委員	<p>「断らない病院を目指す」ということで、救急外来の枠をつくるということだが、人材がいるのか、また、生活習慣病の予防で夜の講演会や地域に出ていく健康講座・健康イベントの実施と書いてあるが、医師の方が交替でいくのか、また、視点2 地域医療連携の「逆紹介率の向上」とは何か、また、視点3 財務の「経営形態の見直し」で令和6年度までに助産所運営の再検討を行うということだが、具体的な方向性というものがあったら教えてください。</p>
岩橋院長	<p>断らない外来につきましては、救急患者や病状に応じてとなるが、早く診断しておくといった体制が必要。また、念頭にあるのは、重症者の救急というよりは、普通に病院に来られた方を、あまりまたせずに外来で受け入れられる体制が必要で、今まで初診の患者さんと再診の患者さんが混在していて、再診の患者さんがたくさんいる中で、合間に初診の患者さんを見ることが、どうしても待たせていたが、4月以降、初診対応の医師を再診とは別に設ける体制としましたので、待ち時間や医師のストレスも改善されていると思っています。4月から内科の医師が新たに加わり、また7月にもうひとり内科の医師が増えるなかで、そうした人員増を念頭に体制をつくってまいります。また、救急の受入率を今より少しでも上げていきたいと考えています。講演会や健康講座等につきましては、テーマによりますが、医師の専門性を考慮するほか、内容によっては看護師や栄養士等の力を借りて開催していきたいと思います。逆紹介につきましては、ある程度安定した状態の患者さんにつきまして、市民病院から開業医の先生方にその後の診療をお願いするものをいいます。急性の初診に対応する余裕を持つために安定した患者さんを市内の先生方に紹介するといった連携をできるだけ作っていきたいと思っています。</p>
黒澤所長	<p>助産所運営の再検討につきまして、現在、分娩件数が落ちてきており、今までは分娩件数を増やすためにいろいろ努力しがんばってきましたが、コロナによる分娩数の低下と医師がいないことによる転院、予約者の約2・3割が信州医療センターに転院になっている現状と、あとは高齢者出産・ハイリスク分娩の増加など、助産所とうみを希望されてもこちらで分娩いただくことができないケースも増えているといった最近の現状があります。運営を見直すなかで、助産所ならではの支援として、別の施設で産んだ産後の方が産後ケアとして利用できるシステムを構築しました。昨年産後ケアも法制化され市町村の補助制度ができてきたので、経営形態の見直しとして、産後ケアを強化していく方向としました。</p>

<p>8 その他</p> <p>9 閉会</p>	<p>原澤委員</p> <p>岩橋院長</p> <p>武藤会長</p> <p>新納副院長</p> <p>武藤会長</p> <p>岩橋院長</p> <p>柳沢医療 事務部長</p> <p>宮下委員</p> <p>中山委員</p> <p>武藤会長</p> <p>安保副会長</p>	<p>先ほど、断らない病院を目指すということで説明があったが、私も訪問看護をやっておりまして、時間外で主治医が市民病院の場合は連絡させてもらうが、主治医が整形外科の医師だと受け入れできないと断れてしまうが、対応策はあるでしょうか。</p> <p>当直医師の専門外の診療に備え、オンコール医師が待機していますので、対応するように徹底していきます。あらためて受診時のルールを決めてご案内していきます。</p> <p>経営改善計画に関して副院長として取り組むことは何でしょうか。新納副院長からご発言をお願いします。</p> <p>主に看護部ですが、新人を採用できないような状況がずっとありましたが、なぜかという、教育体制が整っていない、新人を育てられるような体制がないということがひとつあげられます。現在、管理職になりたくないといった職員がたくさんいますが、原因は人材育成に真剣に取り組んでこなかったからではないかと思っています。市民病院なりの教育デザインをしっかりと構築して、新人も入れてこの病院の職員として育てていくといった環境を整えていきたいと考えています。改善計画の教育人材育成の件となりますが、ここにいろいろなものを付け足して、今年度から取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>続きまして、資料No.4・資料No.5についてまとめて説明願います。</p> <p>&lt;資料No.4 説明&gt;</p> <p>&lt;資料No.5 説明&gt;</p> <p style="text-align: center;">＝ 質疑応答・意見 ＝</p> <p>市民からの各種相談について、全て市民病院で対応する体制を作るのではなく、かかりつけ薬局等を活用してもらったほうが良いと思います。</p> <p>病院はよくやってくれていると思います。</p> <p>まだ、ご発言・ご質問等ありましたら後ほど、事務局のほうへお願いいたします。</p> <p>それでは、閉会に移らせていただきます。安保副会長お願いします。</p> <p>&lt;その他 なし&gt;</p> <p>以上で第1回東御市病院等運営協議会を閉会といたします。大変お疲れ様でした。</p>
--------------------------	--	---